

目 次

はしがき

第 1 章	気候保護政策とパリ協定	1
1	パリ協定レジームへ	1
2	脱炭素化のための長期目標と法的義務のある国際条約	2
3	パリレジームの構成	5
4	市民社会組織、企業の参加とその役割	6
5	環境ガバナンスの重要性	7
第 2 章	持続可能な発展とは	9
	——エコロジー（環境）、経済、社会	
1	「持続可能な発展」の再発見	9
2	持続可能な発展とは	11
3	エコロジー的持続可能性、経済的持続可能性、社会的持続可能性	13
4	「弱い持続可能性」対「強い持続可能性」	16
5	「バランスのとれた持続可能性」 ——福祉の増大をもたらす「成長」	18
6	持続可能な成長のための効率性戦略、首尾一貫性戦略、充分性戦略	20
第 3 章	エコロジー的近代化と統合的環境政策の理論	22
1	環境政策の始まり	22
2	エコロジー的近代化の理論	26
3	1990年代から2000年代にかけての日本の環境政策 ——第2の転換点	32

4	統合的環境政策の理論	35
第4章	持続可能な発展のための戦略	41
	—— EU、ドイツ、日本の事例	
1	ヨーロッパ連合の「持続可能性の戦略」	41
2	ドイツの「持続可能な発展のための戦略」	46
3	日本における環境基本計画と統合的環境政策	57
第5章	環境ガバナンスの理論	64
1	環境ガバナンスの構図	64
2	環境政策における「環境目標と環境指標」	69
3	国レベルの持続可能性の目標と指標	73
4	自治体レベルにおける持続可能性の目標と指標	83
5	持続可能性に関する「目標と指標」づくりの課題	87
第6章	ドイツにおける統合的環境政策と環境ガバナンス	90
1	統合的環境政策と環境ガバナンス	90
2	制度配置と政策専門家の役割	101
3	ドイツにおける環境ガバナンスの特徴	106
第7章	エネルギー政策と環境政策の統合	109
	—— 脱原発とエネルギー政策の転換への道	
1	世界の転換点としての東京電力福島第一原発事故	109
2	エネルギー転換のドイツ・モデル	115
3	日本におけるエネルギー政策転換の課題	126
4	日本における市民主導、地域主導によるエネルギー政策の転換	135
5	日本におけるエネルギー転換の道	143

むすびに————— 146

文献目録

あとがき

索 引